

1. 環境学習コーディネート実施概要 (Web 掲載)

依頼No	1	事例No	1	依頼者	東邦ガス株式会社 ガスエ ネルギー館	実施場所	ガスエネルギー館 7階会議室
実施対象	小学1年生～6年生とその保護者 午前：10組20名、午後：10組20名						
実施日時	令和4年5月22日(日) 午前：10時30分～11時30分、午後：13時30分～14時30分						
テーマ	「環境」が子どもたちの関心事項となるきっかけをつくる						

●依頼内容

東邦ガス・ガスエネルギー館で開催している環境学習講座(月1回開催)の講師を紹介してほしい。

●講師：村瀬政彦氏(環境カウンセラー、愛知県地球温暖化防止活動推進員)

村瀬政彦氏は、ごみ・資源循環・3R、エネルギー問題などを専門とされ、愛知県地球温暖化防止活動推進員であるとともに、「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット(温暖化まなびネット)」にも登録されている。

●授業の内容

座学	「モーター」 について学 ぼう	授業は、身近にある簡単な材料を使って親子でモーターをつくるという内容で行われた。最初に、講師からパワーポイントを使って、モーターは暮らしの中のどんなところに使われているのか、また、その発見の歴史やモーターが回転する仕組みについて説明を受けた。その後、今日の授業で体験するモーターの具体的な作り方について学んだ。	20分
体験 学習	モーターを 作ってみよ う	座学で学んだ手順にしたがって、親子でモーターづくりに挑戦した。エナメル線を乾電池に巻き付けたり、ペンチで切ったり、紙やすりを使って被膜を削ってはがしたり、ゼムクリップを変形させて受け軸を作ったりしてモーターを完成させた。	40分

●授業の様子

授業は、午前、午後の2回、それぞれ10組の親子が参加して行われた。モーターが私たちの暮らしの中のどこに使われていて、どんな働きをしているのか、また、なぜ回転するのかといった説明が行われ、子どもたちは興味深そうに話を聞いていた。その後、親子で協力してモーターづくりに挑戦した。モーター作りでは、エナメル線を乾電池に巻き付けたり、ペンチで切ったり、紙やすりでエナメル線の被膜を削ってはがしたり、ゼムクリップを変形させたりと、子どもたちは日頃あまり手にしたことのない道具を使いながら作業に取り組んでいた。モーターを回転しつづけるようにするには、細かな作業上の配慮が必要であり、なかなかうまく回らず苦労している姿も見られたが、講師のアドバイスを受けながら試行錯誤を繰り返していた。そして、モーターがうまく回るようになると、歓声が上がった。